



Drs. Sophie Turner Zaretsky and Maureen Byrne

GWI アップデート 3月21日号

GWI CSW62 において朝のブリーフィングを開催

GWI は第 62 回 CSW の第一週に数回、朝のブリーフィングを行った。その際、GWI の国連代表である Maureen Byrne と Sophie Turner Zaretsky の両博士そして Mick Minard が、GWI を代表して取り組んでいる女性と女兒の地位向上のためのかけがえのない働きを約 25 名の代表や参加者を前に語った。「持続可能なアジェンダ」の実施に向けた GWI の貢献に対する我らの代表の働きは最重要である。CSW 計画委員会の一員として 9 月から毎月 3 回ずつの会合をこなすのは骨の折れる仕事だ。その委員会では前年度の CSW 参加者から得た意見や提案を分析し、CSW 体験の向上に役立てている。委員会は、コンサルテーションデー、ハンドブックの更新、決起集会、手工芸品フェア、パラレルイベント、資材準備、ゼロドラフト文書の読み込みというそれぞれの小グループに分かれている。GWI の代表と参加者らは、国連の場で世界の政策決定者が討議する多様な議題およびこれからの話題に関し、代表たちが参与・報告することを通じて GWI の使命を推し進めている様子に耳を傾けた。前年度の彼女らの働きには、国連総会、国連経済社会理事会(ECOSOC)、ユニセフ、女子差別撤廃委員会(CEDAW)、ハイレベル政治フォーラム、さらにいうまでもなく CSW と NGO CSW/NY に GWI を代表して出席することである。

GWI は、国連代表それぞれが継続的にボランティアとして国際政治の最高レベルに大卒女性の声を届けてくれていることを賞賛し、また新たな国連代表 Mariella Hannum に暖かい歓迎の意を表する。

GWI アップデート 3月7日号

国際女性デーにあたって

20世紀初頭に創設された国際女性デーは、世界各地および社会の各方面で女性と女児の権利と状況の向上を後押しするために奮起する日として進化を遂げてきた。この女性の国際的祝日を明日に控え、GWIは第62回CSWのレビューテーマに合わせ、メディア界でいまだに続く重大なジェンダーにもとづく固定観念と不平等に注目するよう呼びかけるものである。メディアにおけるジェンダー偏見に関しては政治課題として長く放置され過ぎだ。GWIは、メディアが女性と女児の権利への視点を今以上に拡充させるとともに、ジェンダーに配慮した社内慣行を実践するよう強く求める。プレス発表は[ここ](#)から【英文】